



Cisco IOS XE 17.14.x の新機能

- [Cisco IOS XE 17.14.1 のハードウェア機能 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco IOS XE 17.14.1 のソフトウェア機能 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco IOS XE 17.14.1 でのハードウェアおよびソフトウェアの動作の変更 \(3 ページ\)](#)

Cisco IOS XE 17.14.1 のハードウェア機能

機能名	説明
Cisco 100GBASE QSFP-100G モジュール	<p>サポート対象トランシーバモジュールの製品番号：</p> <ul style="list-style-type: none">• QSFP-100G-DR-S <p>互換性があるスーパーバイザモジュール：</p> <ul style="list-style-type: none">• C9400X-SUP-2• C9400X-SUP-2XL <p>モジュールについては、『Cisco 100GBASE QSFP-100G Modules Data Sheet』を参照してください。デバイスの互換性については、「Transceiver Module Group (TMG) Compatibility Matrix」を参照してください。</p>

Cisco IOS XE 17.14.1 のソフトウェア機能

機能名	説明
BGP EVPN VXLAN <ul style="list-style-type: none"> • fast-detection コマンド • show lisp instance {ipv4 ipv6 ethernet} コマンド 	このリリースでは、次の BGP EVPN VXLAN 機能が導入されています。 <ul style="list-style-type: none"> • fast-detection コマンド : fast-detection コマンドは、SD-Access でのエンドポイントの高速ワイヤレスローミングのサポートを有効にします。 • show lisp instance {ipv4 ipv6 ethernet} コマンド : show lisp instance {ipv4 ipv6 ethernet} コマンドの出力は、ローカルデバイスのアフィニティ ID を表示するように拡張されています。
IPsec の分散処理	分散処理により、以前は 100G に制限されていた IPsec スループットが向上します。Cisco Catalyst 9400X シリーズ スイッチでは、IPsec スループットが 300G に増加しました。
IP SLA プロブ設定の変更機能	configure replace コマンドを使用した、スケジュールされた IP SLA セッションのパラメータの再設定のサポートが導入されました。
mDNS プロトコルのオプション	mDNS プロトコルのオプションが device sensor filter spec コマンドに導入されました。これにより、ユーザーは mDNS プロトコル TLV フィルタリストをデバイスセンサー出力に適用できます。 device sensor filter list mdns コマンドが導入され、Type-Length-Value (TLV) フィールドのリストを含む mDNS プロトコルフィルタを作成できます。これにより、フィールドをデバイスセンサー出力に含めたり出力から除外したりできます。mDNS プロトコル コンフィギュレーションモードで Type Length Value (TLV) のリストを設定するために、 tlv コマンドが導入されました。
Cisco StackWise Virtual での NAT SSO のサポート	アクティブデバイスとスタンバイデバイス間での NAT 状態情報の同期のサポートが導入されました。これにより、アクティブデバイスに障害が発生した場合、スタンバイデバイスがスムーズに引き継ぎ、In-Service Software Upgrade (ISSU) を中断することなくソフトウェアを更新できます。
OSPF ローカル RIB パス制限機能の拡張	OSPF ローカル RIB パス制限機能は、OSPF によってローカル RIB に保存されるパスの数を制限するように設計されており、ネットワークパス選択の制御が強化されます。 maximum-paths コマンドを有効にすると、ネットワーク管理者は、OSPF が特定のプレフィックスのローカル RIB にインストールするパスの数を制御できるようになりました。

機能名	説明
プログラマビリティ： <ul style="list-style-type: none"> • gNMI：変更時モードでのストリームサブスクリプション • gNMI：sync_response を含む SubscribeResponse • YANG データモデル • YANG における複数のネクストホップのサポート 	このリリースでは次のプログラマビリティ機能が導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • gNMI：変更時モードのストリームサブスクリプション：gNMI テレメトリは、他のテレメトリプロトコルと同じモデルのセットで変更時サブスクリプションをサポートします。 • gNMI：sync_response を含む SubscribeResponse：sync_response は、SubscribeResponse 応答メッセージの一部である boolean フィールドです。sync_response メッセージは、最初の更新メッセージの後に送信されます。 • YANG データモデル：このリリースで使用できる Cisco IOS XE YANG モデルのリストについては、https://github.com/YangModels/yang/tree/main/vendor/cisco/xe/17141 を参照してください。 • YANG における複数のネクストホップのサポート：特定のルートまたはプレフィックスのすべてのネクストホップを取得するために、next-hop-options 選択ノードの下に新しいコンテナが追加されました。また、各ネクストホップのタイムスタンプを提供するために、uptime リーフノードが追加されました。
show reload history コマンド	show reload history コマンドが導入されました。デバイスのリロードの理由とその履歴が表示されます。

WebUI の新機能

このリリースに新しい WebUI 機能はありません。

Cisco IOS XE 17.14.1 でのハードウェアおよびソフトウェアの動作の変更

動作の変更	説明
シングルスーパーバイザの電力バジェットモード	シングルスーパーバイザの電力バジェットモードが、Stackwise Virtual モードで動作する Catalyst 9400 シリーズ スイッチで使用できるようになりました。
show crypto engine accelerator statistic コマンド	show crypto engine accelerator statistic コマンドが、Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチで使用できるようになりました。

動作の変更	説明
スイッチ統合セキュリティ機能 (SISF) : ARP パケットのスロットリング制限の拡張	<p>Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.1 では、高 CPU 使用率のシナリオを軽減するためにスロットリング制限が導入されていました。5 秒間あたり、送信元 IP ごとに最大 50 の ARP ブロードキャストパケットが SISF によって処理されていました。</p> <p>Cisco IOS XE 17.14.1 では、この制限が送信元 IP ごとに最大 100 ARP ブロードキャストパケットに引き上げられています。制限に達すると、着信 ARP パケットはドロップされます。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。